



コーヒーの国内栽培を通じた新しい地方創生の形



持続可能な農業の実現と地域社会の活性化推進を目指して

活用したソリューション

- アグリビジネス
- 加湿空調装置

経緯/活動内容

2021年
コーヒー栽培研究の開始

2023年12月
NEXCO中日本との連携協定の締結

2024年3月
コーヒー試験栽培への参画



経緯/活動内容

- 耕作放棄地の有効活用
- 空き温室の有効活用
- 交流人口増加
- コーヒー豆の6次産業化

.....

なぜ国内でコーヒー栽培？

日本は有数のコーヒー消費国ながら、沖縄以外ではほぼ生産していないため、輸入比率が高くなっています。

世界的な気温上昇や降雨量の変化により、将来の生産量が大きく減少すると予測されているため、国内でコーヒー豆の栽培ができれば、既存農家と競合しにくく地域の農業を守ることができ、かつ高付加価値も見込めます。

.....

協定等

- NEXCO中日本との「コーヒー栽培事業を通じた持続可能な農業および地方創生事業の検討に関する連携協定」(2023年12月)



コーヒーノキの植栽状況

